

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.120

2015.10.3

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

「戦争しない国」であるために

私たちの真価が問われている日本の未来社会

～憲法の力で立憲主義・民主主義・法の秩序を守るために～

平和憲法・9条をまもる岩手の会 呼びかけ人 加藤善正（岩手県生協連会長理事）

「戦争法案」の参院での強行採決は、衆院に続いて「憲法違反」というこの法案の本質を暴露するように民主主義を破壊する形で行われた。過半数の反対、8割の「政府の説明不十分」、7割の「今国会成立反対」という国民の声を無視した参議院の強行採決劇は「自公政治の存立危機事態」を多くの国民に示した。

国会前だけでなく全国各地のその後の運動は、改めて「憲法の平和主義・立憲主義・民主主義・国民主権の危機」への怒り、「戦争法」がこの憲法を乱暴に踏みこむ稀代の悪法であることを鮮明にしている。「戦争法」の廃止と閣議決定を消滅させるために「国民連合政府」の提案を歓迎する流れが勢いを増してきている。

さて、戦争法案を強行した安倍政権の政治は未来の日本社会を如何なる国に導くのか。この問題を私たちは真剣に分析し、その危険な本質を余すことなく解明し、多くの国民の間に広げ、その国民の願いや要求を実現する自覚的・自発的諸運動と結合し、かつてない主権者の大運動を前進させることが求められている。

その第1の特徴は、「軍事を社会の中心に置く考え方が限りなく近づいている」ことである（前日本学術会議会長・広渡氏談）。既に防衛庁は「防衛装備庁」を設置し、武器輸出の推進＝「死の商人」の支援専門官庁へ肥大化しようとしている。軍事大国と福祉国家は両立しない。第2はアメリカとの軍事・経済・外交などより一層の隷属関係を強化し、TPP条約締結、沖縄新基地建設強行、原発再稼働と新安全神話の推進、金融資本主義＝新自由主義＝貧困と格差の国づくり、社会保障制度の崩壊、反動的な教育再編、等々、子どもや若者の未来を歪める。第3は自民党憲法草案に基づく「憲法改悪」への執拗な世論形成＝特に「日本会議」の地方進出など、「実体のない美辞麗句による選挙公約」、東京オリンピックを活用するマスコミへの介入と世論操作。こうした諸問題を私たちは徹底して学び、自らの確信にできるような努力が求められているのではないかと。

こうしたこれまでと異なる努力によって、戦争法案に反対した若者や女性など、民主主義を実現しようとする新しい人々との連帯を確実に求めていこう。今こそ、11年続く「平和憲法・9条をまもる岩手の会」の真価が問われている。

県内各地で「戦争法案」反対！廃案を求め行動！

釜石 釜石駅前連日スタンディング

釜石では、「ストップ戦争法案」釜石地区実行委員会を結成し、9月14日から連日、釜石駅前では16時から30分間スタンディングを行っています。「憲法違反の戦争立法廃止」「9条守れ、憲法壊すな」「子どもたちに平和な未来を」「アベ政治を許さない」などののぼりやプラカードなどを掲げます。23日まで10回のべ74人が行動に参加！



仕事帰りの車が多く、10分間に約200台の車が通ります。目立つのぼりやプラカードを見て、ドライバーは共感のクラクション、手を振る、頭を下げる、笑顔など、反応は良いです。

権力を縛り、国民を守る憲法を、国民の声を聞かず勝手に「戦争をする国」につくりかえた安倍首相と自公政権などへの怒り。いてもたってもいられない気持ち、何かをしなければの思いが連日のスタンディングにあらわれています。

北上 戦争法案強行成立に市民怒り～青年が集会・デモを主催

9月21日夕方、北上市の詩歌の森公園で実行委員会主催の「ストップ！安保法制市民集会」が行われ、若い男女をはじめ医療や教育現場で働く人々、だっこやベビーカーを押しての親子連れ、主婦、孫を連れて参加など、100人が集まりました。



主催者代表あいさつでは「北上では青年が主催するのは初めてですが、私たちは怒りを持ってこの集会を企画しました。戦争ができる国になり、犠牲になるのは若者です。私たち若者は絶対に戦争法は認めません。今日は市民のみなさんに私たちの思いを伝え、ともに廃止するまでたたかうことを呼びかけます。」と力強く訴えました。

集会後のデモ行進では、沿道から声援や手振りが送られ、自民党事務所の前では声がひときわ大きくなりました。

全県・盛岡 絶対止める！戦争法案 ストップ！戦争法案 9・12岩手県民集会

9月12日、「ストップ！戦争法案 9・12岩手県民集会」を開催し、全県から2千人が参加しました。9条をまもる岩手の会を含む116団体の実行委員会が主催し、共催に岩手弁護士会、後援に東北弁護士会連合会が名を連ね、「戦争法案」の反対の思いをアピールしました。



オープニング、うたごえの広場の後、集会がスタート。集会では「絶対止める！反対スピーチ」で若者、女性、地域、宗教者、そして政党（生活の党、民主党、共産党、社民党）など、様々な立場でスピーチが行われました。また、瀬戸内寂聴さんからのメッセージが代読され、参加者から大きな拍手が起きました。

デモ行進では思い思いのプラカードを持ち、「戦争法案、絶対反対」とアピールしながら歩きました。

当日は自民党と公明党への抗議ハガキ行動も行い、785枚が集まり、一人ひとりの思いが伝わるよう1通ずつ投函しました。

強行採決を許さない！9・17盛岡緊急抗議デモに700人が参加！

9月17日、参議院特別委員会であのドタバタの中強行採決された後の18時から、盛岡では緊急抗議デモが行われました。9・12集会の実行委員会が主催し、盛岡だけでなく、全県から予想を超える700人が集まりました。思い思いのプラカードやのぼり旗を持ち、「強行採決反対！」とアピールしました。



同日は一関市で毎週木曜日に行っている「戦争法案ストップパレード」

(12回目)、奥州市で「戦争法案の強行採決を許さない！胆江地区集会」なども行われました。

今月の署名行動 10月の署名宣伝行動は、10月9日（金）12：00～12：45
大通野村證券前にて行ないます。戦争法廃止！の新たな気持ちで頑張りましょう！